

普及活動情勢報告（令和7年5月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

ダクトの配置を勉強しよう！ ～JA高知県大方支所園芸部キュウリ部会視察研修～



4月15日、四万十市のピーマンハウスで、加温機のダクト配置についての視察が開催され、生産者6名、関係機関5名が参加しました。この視察は、キュウリ農家のハウス内の温度ムラを改善することを目的に開催されました。

農業改良普及課からは、現ハウスの加温機のダクト配置事例について、資料を用いて生産者に説明しました。

生産者からは、「ダクトをサイドのみに配置しても、ハウス中央部は温まるのか」、「ダクトを地上部から浮かすと、作業の邪魔になるのではないか」などの質問がありました。

今後も、キュウリ生産者の収量アップのため、栽培管理の支援をしていきます。

去年は頑張りました！今年も頑張らしましょう！ ～宿毛シシトウ部会総会～



4月23日、JA高知県宿毛支所で、シシトウ部会の総会が開催され、生産者9名、関係機関3名が参加しました。

農業改良普及課からは、今年度の定植から収穫開始までの栽培管理について情報提供しました。

生産者からは、「定植直後は何リットルかん水をすれば良いか」、「生育状態の判断方法をより詳しく知りたい」という質問があり、具体的な手法を提案しました。

今後は、JAと協力して現地巡回を行い生育初期の管理をより徹底し、夏期の収量・品質向上に取り組めます。

広域連携の取組に向けて！ ～令和7年度第1回中村地域営農協議会～



4月24日、四万十市役所で、第1回目の中村地域営農協議会の役員会が開催され、管内の5集落営農組織から7名が出席しました。この協議会では、昨年度から米の共同出荷に取り組んでおり、また3月に設立した合同会社スマートアグリ中村が、ドローンの導入に取り組む計画となっています。

農業改良普及課からは、今年度の共同出荷の計画やドローンの事業導入に向けた協議、中山間直接支払交付金について情報提供しました。

今後も、関係機関と連携して集落営農組織間における広域連携の取組を推進し、支援していきます。

令和 6 年度の活動を、令和 7 年度の活動にいかす！ ～宿毛 4 H C 総会～



4 月 25 日、宿毛市役所で、令和 6 年度宿毛 4 H C 総会が開催され、クラブ員 10 名、関係機関 6 名が出席しました。会では、令和 6 年度の活動の振り返りを行い、令和 7 年度の活動計画についてクラブ員と関係機関で協議を行いました。

農業改良普及課は、事務局として総会資料の作成を支援しました。

クラブ員からは、「新規のクラブ員がもっと欲しい」、「4 H C だけの魅力を作っていきたい」といった声があり、活動に対する意欲を感じました。

今後も、関係機関と連携して宿毛 4 H C の活動を支援していきます。

今作の生育はどうですか ～ J A 高知県中村支所施設ショウガ部会現地検討会～



4 月 28 日、四万十市のショウガハウスで、現地検討会が開催され、生産者 21 名、関係機関 7 名が参加しました。検討会は、土壌病害の感染に配慮し、外からは場内を視察しながら、今作の生育状況について、意見交換しました。

農業改良普及課からは、施設ショウガ産地で問題となっている根茎腐敗病の対策として、低濃度エタノールによる土壌還元消毒について情報提供しました。

生産者からは、「露地栽培と異なり、ほ場を変えることができないため、土壌病害は心配」、「今作は生育が悪く、土壌病害が特に多い」などの意見がありました。

今後は、土壌病害対策として土壌還元消毒の現地試験を実施し、防除技術を普及・推進していきます。

産地全体で増収を目指そう！

～ J A 高知県西土佐出張所米ナス部会雨よけ栽培現地検討会～



5 月 9 日、西土佐の雨よけ栽培米ナスのほ場で、第 1 回目の現地検討会が開催され、生産者 12 名、関係機関 6 名が参加しました。検討会では、生育状況の確認を行いながら、全生産者のほ場を巡回し、西土佐農業公社の会議室で意見交換を行いました。

農業改良普及課からは、生育調査及び土壌分析結果を基に、今後の肥培管理の指導を行いました。

生産者からは、「高温期の肥培管理を徹底して 11 月末までしっかり取れる株作りをしましょう」、「最近バラついてきた定植時期を揃えてはどうか」との発言や提案が出されました。

今後も、JA と協力して米ナスの生産振興に取り組んでいきます。

カンキツ類を推進するぞ！ ～レモン大規模栽培法人との打合せ～



5月12日、大月町役場で、レモン選果機導入についての打合せを行い、大月町の1法人、関係機関8名が出席しました。この法人では、養鶏場の鶏糞を肥料として利用するため、レモンの栽培拡大を予定しており、レモンの収量増加に対応するため選果機の導入を検討しています。

農業改良普及課からは、選果機導入に関する補助事業の説明を行いました。

会では、「今後、レモンを増やしていく予定だ」、「選果機はいつから必要なのか」など活発な意見交換が行われました。

今後は、法人を中心に関係機関が連携して、選果機導入に向けて支援していきます。